

長崎市立三川中学校 学校だより HP

「緑のそよ風」

第6号 令和7年7月 14 日(月)

文責 校長 井上博之



1年生 制作

○ 生徒総会

6/27(金) 5,6校時に1Fの3年オープンスペースで生徒総会を行いました。約1か月前から生徒会が中心となって事前準備を進めてきました。専門委員会活動に関する要望や「私たちが考えるメディア宣言」の内容、各学級からの議題等について学級討議を重ね、議長や発表者の選定、リハーサルを経て本番を迎えました。自分たちの学校生活を、民主的な話し合いでより良く変えていく事を学びました。タブレットPCを活用しての資料作成や配布、電子黒板の活用等、効率的な運用の工夫も見られました。事前の学級討議では、1年生のために3年生が各教室に入り、丁寧に指導助言をしており、感心しました。また、当日は生徒一人ひとりが積極的な姿勢で参加し、真剣な態度で協議ができていました。三川中学校の生徒会活動と生徒それぞれのすばらしさを改めて実感しました。



○ 長崎っ子の心を見つめる教育週間

今年度、本校では6/30(月)～7/5(土)の1週間を「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に設定し、様々な取り組みを行いました。その様子をお伝えします。

① 校長講話 6/30(月) 5校時に1年生、6校時に2年生、7/1

(火) 3校時に3年生に、それぞれ1時間の講話を行いました。内容

は「教育週間のきっかけと目的」「生命と人のつながり」「“Well-being”と“QOLの向上”」「体験談」「幸福に生きるための考え方」等でした。生徒にとっては初めて聞く言葉や内容もあったようですが、どの生徒も真剣によく聞いていました。事後アンケートでは、「自分が今、幸せかと考える機会があまりなかったので、今日の講話は自分を見つめ直す良い時間になりました。」「自分は失敗したことに対してずっと引きずってしまっているところがあるので、そういうところは直して自分の幸せにつながるようにしようと思いました。」「自分の幸福には家族が必要なことに気付いた。」「Well-beingやQOLなど、初めて聞くようなことがあったけど、詳しく知れて良かったです。」「面白くてわかりやすい内容だったので理解しやすかった。ストレスマネジメントについてももう少し聞きたかった。」「命の尊さを改めて実感することができました。私はどちらかというとなにかするたびに不安が生まれ、ネガティブになってしまうことがあるので、これからは『何とかできる』とポジティブに捉えていきたいです。」「夢に向かって頑張ろうと思った。」などの感想がありました。



② デートDV防止教室 7/1(火) 5,6校時に3年生を対象に実施しました。

目的は、「男女交際に大きな関心を持ち始める中学生に、DVについての正しい知識と対等な人間関係づくりの大切さを知る機会を設ける」ことです。今回の講師はNPO法人DV防止ながさきより、小松由美子様をお願いしました。講話の中で、男女交際の中で身体的な暴力だけでなく、束縛や強要、立場の強弱による言動がデートDVになりうることを学びました。また、実際の場面を想定したロールプレイ(役割演技)を行い、その時の当事者の気持ちや望ましい対応について考えました。事後の感想では、「今日の授業を受けて、暴力は相手が嫌だと言ったら全て暴力になること、デートDVは中・高生や若い人によるあることだと知り驚きました。」「暴力をなくすためには対等な立場でいることが大切だ



とわかったので、これから先、自分が支配者や権力者にならないよう、気をつけたいです。」
「自分も今まで勘違いしていたことがあったかもしれないと思いました。相手のことを考えることや自分の意見を伝えることがいかに大切かわかりました。」等がありました。思春期を迎えている生徒にとって大変重要な意味を持つ学習だったと思います。

- ③ 高校説明会 7/2 (水) 5,6 校時に 3 年生と保護者を対象に、9 つの高校（長崎東、長崎北、長崎工業、長崎商業、海星、純心、南山、玉成、総附）の先生方をお招きし、3 つの時間帯に分けて 3 教室でそれぞれ高校についての説明をしていただきました。これから三者面談を経ていよいよ自分の進路について決定していく時期に入ります。各高校でオープンスクールも開催されています。積極的に参加して自分の目と耳で学校の特色や雰囲気を感じ、さらに様々な情報を収集し、家族とよく相談しながら、進路選択を考えて欲しいと思います。



- ④ アントレプレナーシップ教室 7/3 (木) 5 校時に 1 年生、6 校時に 2,3 年生を対象に、1F オープンスペースで開催しました（“アントレプレナーシップ”と講話のねらい等については学校だより第 5 号でお知らせしています）。今回は県内中学校での講話は珍しいということで、報道へお知らせし、当日は 1 年生の講話時に NIB が取材に来ました。講師は（株）ベター・プレイス代表取締役社長の森本新士様をお招きしました。学生時代の苦悩や社会人になってからの成功や挫折、困難を抱えながらも強い意志と目的をもって苦難を乗り越えて来られた貴重な体験を聞くことができました。中学生に伝えたい事として「お金や名声を挙げることが重要ではなく、“好きな事を貫くこと” “尊厳をもって生きていくこと” “目の前のことや日々一生懸命取り組むこと” の大切さ」を語っていただきました。生徒からも多数の質問があり、それぞれの心に大きなインパクトがあったと思います。当日の夕方と、土曜日の TV 番組で取り上げられ、注目を集めました。



- ⑤ 情報モラル教室 7/4 (金) 音楽室にて 2 校時に 1 年生、3 校時に 2 年生、4 校時 3 年生を対象に実施しました。講師は、長崎県メディア安全指導員の今村健吾先生でした。先生は精道三川台中学・高校の先生でもあり、多くの小・中・高校で講演をされており、人気の先生です。今回は「メディアを安全に利用するには、どうすればいいのか？」というタイトルで講話をしていただきました。内容は、ネットやゲームの依存性、脳や生活に与える影響、管理責任者の責任や利用規約、自己コントロールのための工夫、メディアリセットなど、生徒の実態に即したもので、生徒も自分事として「自分のスマホやメディアの使い方はこのままで良いのか？」と改めて考える貴重な機会となりました。



近年、ゲームや SNS が生徒の睡眠不足の原因となっていることが問題になっています。大切な事は、貴重な時間をそれらに奪われないように自分でコントロールする力をつけることです。賢く、有効に使えばスマホやメディアはとても便利なツールとなりますが、使い方を間違えれば、自分や人を傷つけ、場合によっては大きな損害や命を奪う危険性を持っていることを忘れないようにしてほしいと思います。

※教育週間の様子は次号 学校だより第 7 号に続きます。